Mediate Company of the Company of t



- ・令和6年度中央会支援事業のご案内
- ・中小企業省力化投資補助事業のご案内



· Contents ·

P4. 組合NEWS

- ・コマドリ協同組合
- 栃木県道の駅連絡協議会
- 宇都宮市管工事業協同組合

P5. FLASH

P6~7. 景況レポート(令和6年4月)

P8~9. 組合インタビュー「この人に聴く」

Vol.59 栃木県テント装飾工業組合 理事長 太田 浩彰 さん

P10. 組合ニッポン!めぐり旅/Q&A

P11. 関係機関からのお知らせ

P12. 中央会からのお知らせ



















令和6年度中央会支援事業のご案内

~組合等の課題解決・事業活性化を中央会がサポートします!~

人材確保、採用力強化のノウハウを学びたい・・・。



✓ 人材採用・定着力強化セミナー開催事業 を活用!

中小企業における人手不足問題に対応するべく、人材確保と定着率向上につなげるためのセミナーを開催 することで支援していきます。

【対象経費】謝金、旅費、会場借上料 【対象】組合、組合員企業

価格転嫁対策について学びたい・・・。

NEW

✓ 組合等価格転嫁サポート事業 を活用!

中小企業の円滑な価格転嫁の実現を目指すため、専門家を交えた検討並びに講習会を開催し、対応策について検討していきます。

【対象経費】謝金、旅費、会場借上料 【対象】3組合

組合の共同事業活性化に向けた取組みを行いたい・・・。

✓ ニュープロダクト開発等支援事業 を活用!

組合員の優れた商品や技術を集結し、中小企業組合の活性化を目指すため、本年度は引き続き初年度に策定した新商品等のコンセプトについて研究を進めていきます。

【対象経費】謝金、旅費、会場借上料 【対象】 1 組合

後継者対策についての取組みを行いたい・・・。

◇ 事業承継促進支援事業 を活用!

各組合において組合員の高齢化、後継者不足による廃業が大きな課題となっているため、中小企業診断士 等の専門家の支援を受けて、後継者対策について支援していきます。

【対象経費】謝金、旅費、会場借上料 【対象】] 組合

EC販売(電子商取引)・ネット販売に取り組みたい・・・。

✓ 県産品アソート支援事業 を活用!

ネット販売に取り組む組合・組合員企業の支援を目的に、本年度も新規出品を募り、アソートセットのラインナップ充実と付加価値向上に取組んでいきます。

【対象】協同組合(組合員)、企業組合等

インボイスへの対応策を検討したい・・・。

|✓| 事業環境変化対応型支援事業 を活用!

インボイス制度等の周知・広報や導入後の対応を促進するため、個別相談窓口の設置、講習会の開催及び専門家を組合に派遣し、対応策について検討していきます。

【対象経費】謝金、旅費、会場借上料 【対象】4組合、組合員企業(先着順)

困っていることを相談したい、専門家のアドバイスがほしい・・・。

◇ 専門家派遣事業 を活用!

中小企業組合や中小企業等が抱える組合運営や法律、経理、労働などの幅広い課題に対して、専門家を組合等に派遣し、課題の解決を図ります。

【対象経費】謝金、旅費 【対象】10組合(先着順)

組合HPの作成やリニューアル、宣伝用チラシ、組合のロゴなどを作りたい・・・。

▽ 取引力強化推進事業 を活用!

中小企業・小規模事業者が連携して共同事業の活性化や受注促進、ブランド構築等、取引力の強化を図る ための取組みに助成します。

【対象経費】委託費、謝金、旅費、消耗品費、会議費 他 【補助率】2/3(上限50万円(税抜))

【対象】3組合(構成員の2分の1以上が小規模事業者である組合)

【募集期間】 4月22日(月)~6月28日(金)※現在募集中

支援事例 **>>>>** 組合 P R や観光客誘致を目的としたパンフレット・チラシの作成、スマホに対応させた H P の作成

災害時の具体的な対応について検討したい、連携体制を整備したい・・・。

✓ 緊急時組合連携事業 を活用!

災害発生に対する備えの必要性が増す中、組合が防災への備えを学び、組合間連携による災害時の復旧支援ネットワークを構築することを目標に、講習会を開催するとともに、個別の組合等に対し専門家の派遣を行います。

【対象経費】謝金、旅費 【対象】最大4組合(先着順)

支援事例 >>> 災害を乗り越える企業の備え、中小企業の防災・減災対策を考える等

もしもの時に備えて、BCP・事業継続計画を策定したい・・・。

✓ 組合等中小企業BCP・事業継続計画策定支援事業 を活用!

災害時、事業の継続や速やかな復旧を可能とするためには、BCPを策定し平常時から準備しておくことが重要です。BCPや事業継続力強化計画の基礎知識や必要性についての理解を深め、策定に向けて専門家とともに複数回具体的な支援を行います。

【対象】組合、組合員企業

組合の制度、運営、会計の専門知識を学びたい・・・。

→ 中小企業組合士養成事業 を活用!

組合の「制度」「運営」「会計」の3分野を基礎的な知識から学び、実践的な実務・ノウハウ等の習得を目的とした講座を開講します。また、中小企業組合士(全国中央会認定資格)取得に向けた試験対策も行います。 一部科目のみの受講もできます。

【対象】組合の役員、事務局職員、組合員等 【開催時期】9月~10月

講座内容 床 制度、運営、会計、中小企業組合士検定試験過去問題演習等

組合青年部の創設、他青年部との異業種での交流をしたい・・・。

|✓| 青年経営者中央会 を活用!

組合青年部を対象に様々なテーマに基づき研修会、県内・県外との交流会を行います。情報交換や人的ネットワーク構築により経営力の向上を図ります。

【対象】組合青年部、若手経営者、後継者グループ等

開催事例 SDGs研修会、チームビルディング研修、異業種での情報交換会等

今年度事業計画から一部の事業を掲載しております。各事業の詳細については中央会へお問い合わせください。



中小企業省力化投資補助事業のご案内

中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするため、人手不足に悩む中小企業等に対して、IoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品を導入するための事業費等の経費の一部を補助することにより、簡易で即効性がある省力化投資を促進し、中小企業等の付加価値額や生産性向上を図るとともに、賃上げにつなげることを目的とします。

対象要件

- ■中小企業等が、中小企業省力化投資補助金HPに公開する補助対象製品のカタログ※に登録された製品から選んで省力化のための設備投資を行い、労働生産性年平均成長率3%以上の向上を目指す事業計画を策定し、取組むこと。
- (賃上げによる補助上限額引き上げを適用する場合)給与支給総額年率6%・事業所内最低賃金年額45円以上の賃上げに取組むこと。
 - ※カタログとは?

中小企業等が簡易・迅速に導入できる汎用製品であって、従前と同等またはそれ以上の付加価値を産 出するために投入する労働量を減少させることで人手不足の解消の効果をもたらす製品を、あらかじめ 補助の対象として登録されたリストを指す。

補助上限額・補助率

補助対象	補助上限額		補助率
補助対象として	従業員数5名以下	200万円(300万円)	
カタログに登録された	従業員数6~20名	500万円(750万円)	1/2以下
製品等	従業員数21名以上	1,000万円(1,500万円)	

※賃上げ要件を達成した場合、()内の値に補助上限額を引き上げ。

事業実施の注意点

- ■中小企業等は、省力化製品及び販売事業者をカタログから選択すること(導入する製品及び購入先となる販売事業者が、予めカタログに登録されていることを確認)。
- ■中小企業等と販売事業者が共同で事業計画の策定、申請を行うこと。
- ■本事業は省力化を目的とすることから、新規事業は対象とならない。
- ■既に所有する製品の置き換えを行うものでは無いこと。
- ■**GビズID**を取得していること(GビズID(アカウント)の取得には一定の期間を要しますので、余裕をもってお手続きください)。

事業の詳細、公募要領等につきましては、事務局HPをご確認ください。 https://shoryokuka.smrj.go.jp/

【お問い合わせ】

中小企業省力化投資補助事業 コールセンター

ナビダイヤル 0570-099-660 IP電話等からのお問い合わせ先 03-4335-7595

お問い合わせ時間:9:30~17:30/月曜~金曜(土・日・祝日除く)



創立総会を開催

コマドリ協同組合

4月22日、小山市にて「コマドリ協同組合」の創立総会が 開催されました。

当組合は、耕種農業及び建設関係の事業者7名によって構成され、資材の購買や建設工事の受注斡旋等の事業に取組むことで、個々の企業では対応が難しいコスト削減や経営の合理化を図り、組合員の雇用の維持及び経済的地位の向上を目指していきます。また、国内で培われた技能・技術・知識の開発途上国等への移転を目的とし、外国人技能実習生共同受入事業にも取組んでまいります。



■ 道の駅明治の森・黒磯 リニューアルオープン!

栃木県道の駅連絡協議会

道の駅明治の森・黒磯が4月26日よりリニューアルオープンすることに先立ち、前々日の24日に式典が開催されました。 当日は出資団体の関係者や、施工業者、国会議員、県・市議らが出席し、新たな門出を祝いました。

同道の駅は平成10年に開業しましたが、直売所やレストランが入った建物の老朽化に伴い、令和3年より再整備事業が進められ、今回のリニューアルオープンに至りました。これまでは(公財)那須塩原市農業公社が運営してきましたが、新施設は市をはじめ、酪農、農業、金融、商工分野の計10団体が出資した第三セクター「㈱明治の森市場」が運営していきます。「農家が集まる道の駅」をコンセプトに掲げ、地域の特色ある農産物や乳製品を販売することで、生産者と消費者の交流拠点づくりを目指します。



テープカットの様子

■ 給水スポット「宮の泉」のオープニングセレモニー開催 宇都宮市管工事業協同組合

4月26日、宇都宮市管工事業協同組合が創立70周年記念事業として宇都宮市に寄贈した給水スポット「宮の泉」が供用開始となったことに伴い、市の主催の下、設置先のオリオンスクエアにおいてオープニングセレモニーが開催されました。 当日は同組合及び佐藤市長、市の関係者らが出席し、「宮の水」から給水した水で乾杯を行いました。

「宮の泉」は市の安全かつおいしい水道水をPRするための給水スポットで、マイボトルを持参して無料で利用でき、熱中症対策やペットボトル削減による環境負荷軽減が期待されます。

同組合の中村理事長は、「宮の泉から給水してのどを潤し 夏の暑さを乗り切ってほしい」と述べ、給水スポットの利用 を促進しました。



マイボトルに給水する中村理事長

第69回 栃木県中小企業団体中央会 通常総会

FLASH

栃木県中小企業団体中央会 第69回通常総会を開催

去る5月23日(木)、本会第69回通常総会を、ベルヴィ宇都宮で開催い たしました。

当日は、本会会員等約100名の方々がご出席され、天利栃木県副知事 をはじめ、多数のご来賓の方々にご臨席いただきました。

議事では、令和5年度の事業報告をはじめ、令和6年度の事業計画 (案)及び収支予算(案)など6議案が上程審議され、全議案とも原案 どおり承認可決されました。

また、栃木県知事表彰及び栃木県中小企業団体中央会会長表彰が行わ れ、優良組合、組合功労者及び優秀事務局専従者として12名の方々が受 賞されました。

本会は来年度、創立70周年の節目を迎えるにあたり、「創立70周年記 念事業準備委員会」を発足し、イベントや式典等の開催に向けて準備を 進めて参ります。会員の皆様におかれましても、周年事業の成功に向け、 何卒ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



挨拶を行う横倉正一会長



天利和紀栃木県副知事の祝辞



受賞者を代表して膝附武男理事長 (栃木県米菓協同組合) からの謝辞

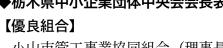
栄えある受賞おめでとうございます (敬称略)

◆栃木県知事表彰(中小企業団体功労)

【団体等】日光建設業協同組合(理事長 榎本 美明) 【個 人】膝附 武男(栃木県米菓協同組合 理事長)

◆栃木県中小企業団体中央会会長表彰

小山市管工事業協同組合(理事長 猪瀬 修) 宇都宮石材協同組合(理事長 青木 克浩) 朝一)



芳賀浄化槽設置管理協同組合(理事長 平石

栃木県知事表彰を受ける日光建設業協同組合

(榎本美明理事長)



優良組合表彰を受ける小山市管工事業 協同組合 (猪瀬修理事長)

【組合功労者】

星野 仁志(中禅寺レイクサービス協業組合 理事長) 毛塚 武久(北関東電設資材卸業協同組合 理事長) 小泉 栄志 (足利プラスチック工業協同組合 理事長)

【優秀事務局専従者】

木村 善英(協同組合宇都宮エルピーガス保安センター 事務局長)

田代 文男(塩谷建設業協同組合 事務局長)

山口好志江(宇都宮市中央卸売市場関連卸商協同組合 職員)

謙臣(栃木県中小企業団体中央会 主任)

景犯レポート

<u>~52 名の情報連絡員による報告</u>~

令和6年4月分

4月の県内D I 値は、前月と比較して、売上高は-7.7ポイントの低下、収益状況は7.6ポイントの改善、業界の景況に変動は見られなかった。

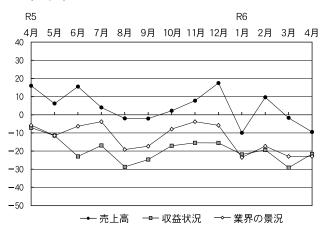
新年度を迎え、季節需要や大型連休に向けての観光需要、公共工事の本格稼働、企業の設備投資の拡大等による景気回復が期待されるところだが、依然として原材料高・燃料費の高止まりや、働き方改革関連法の施行に伴う輸送費の上昇、賃上げ等によるコスト増といった要因から、全体的に厳しい状態が続いている。DI値上、「雇用人員」は4か月ぶりにマイナスから脱却しているが、それでも建設業や運送業、卸売業をはじめ、多くの業界において慢性的な人材不足に悩まされている状況は変わらない。

景況天気図(前年同月比の DI値)

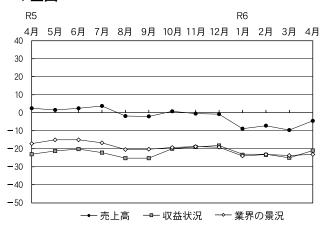
	全体	製造業	非製造業
売上高	<u></u> −9.6	4.0	-22.2
在庫数量	-14.3	-20.0	0.0
販売価格	19.2	16.0	22.2
取引条件	<i>─ ─ ─ ─ 7.7</i>	—8.0	<i>─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─</i>
収益状況	-21.2	-16.0	-25.9
資金繰り	<u></u> −9.6	0.0	-18.5
設備操業度	4.0	4.0	
雇用人員	0.0	<u>←</u> 4.0	<u></u>
業界の景況	-23.1	-16.0	-29.6

DI 値の推移(対前年同月比)

▼栃木県



▼全国



※DI (Diffusion Index) 値とは、景気の動きを とらえるための指標です。各景況項目について 「増加・好転」との回答した業種から、「減少・ 悪化」との回答をした業種の割合をもとに示し ております。

₩ 30 以上	10 以上 30 未満	○○ -10 以上 10 未満
-30 以上 -10 未満	冷 −30 未満	

	食 料 品		コロナが5類になって1年が経過し、世の中の人流が増えて、消費も活発化してきたおかけで、他の企業でも多忙を極めているところが増えてきた。反面、地域によっては、納入先により変わらず厳しい経営を強いられている企業もおり、いわゆる勝ち組、負け組の差が顕著である。又、原材料資材類の値上げについても、4月に主原料の小麦粉の改定が発表されて、7月から小幅ながら値上げ、値下げされるもの、変わらないものがあり、製品価格に反映されるか微妙である。更に人手不足については、都市部では採用できている企業あり、郡部では採用定着に苦労している様子。ゴールデンウイークの前半では、県内観光地には多くの人出があり、関連する企業は好調であったようである。価格改定については、多いところでは小幅に3~4回値上げを実施し、少ないところでは1度だけとのところもあり、上げ幅を10%~30%の値上げを認めてもらえたとの報告があった。(めん類製造業)			
	繊維工業		久々にコロナ禍の影響を受けない春夏シーズンを迎えるが、アパレル関連の企画は大きな動きはなかった。インバウンドの効果が見込める観光、飲食、レジャー関連の影響から接客業務用のユニフォームの需要増加が、繊維関係では唯一明るいニュースである。(絹・レース・繊維粗製品製造業)			
製造業	木 材 ・ 木 製 品	*	住宅戸建建築の売れゆき不振、着工数の減少により、木材合板類の価格が下落。売上の減少と利益額の減少に見舞われている。設備機器、人工賃の上昇により住宅価格が上がっている為、住宅取得のメイン層の動きが鈍いと聞く。梱包用木材は世界経済の不透明感が増しているのか、流通量が低調に推移。(建具製造業)			
	印 刷	**	官公需は低調、民需は連休前の一定の需要はあるがネット通販印刷の影響で工賃が低く抑えられており、コスト上昇分の価格転嫁は進まない。(印刷業)			
	窯 業 ・ 土石製品	≎	陶器市の準備で原材料の売上は好調である。5月は陶器市も終わり、一段落する為、売上が下がらないか心配である。他産地の原材料屋の縮小や閉山があり、原料の調達が問題になりそうである。益子陶器市は、10日間で40万人位の来場者数だが、思ったほど売上が上がっていない。(陶磁器・同関連製品製造業)			
	鉄鋼•金属		鋼材関連は、仕入れ価格が更に上昇傾向にある中、販売価格は相見積もりの競争激化。明 るい話題が無い新年度のスタートであった。自動車部品は、多少の増産傾向にある。経済 効果になることを期待している。(金属製品製造業)			
	一般機器	8	令和6年4月の報告は、売上高減少及び収益状況が少々悪化という組合員企業が出てい他の項目につきましては前年同月同様との報告になっている。円安による仕入れ資材や経費等の上昇や賃金アップ等の対応など、経営基盤の懸念も引き続き報告されている。業間格差もあるものの当組合員の景況につきまして悪化という報告も多くあった。(一機械器具製造業)			
	卸売業	<u></u>	業種・取扱商品によって流通量の増減に差がある。荷動きはあまり良くない。燃料価格は、 高止まりが続いており、物価高騰と相まって、収益を圧迫している。従業員の人員確保が 難しい。(募集をかけても集まりにくい。)(各種商品卸売業)			
	小 売 業	発	近隣大型モールが4月中旬に大規模リニューアルオープンした為、以降は大幅に客数が落ち込んだ。ゴールデンウイーク前半戦も閑散とした状況になってしまい、当面は厳しい状況が続くと予想される。(各種商品小売業)			
非製造	サービス業		4月も宿泊は比較的高稼働で推移したがコロナ前とは月ごとの傾向が違ってきてい感じる。宴会では、コロナ宿泊療養施設後の原状復帰作業中により100%ダウン。では、コロナ前と売り上げトレンドの傾向が変わってきているよう感じる。週末はきた感じがある。歓送迎会等の利用も増えてきた。(旅館・ホテル)			
業	建設業	**	年度末から引き続き受注状況は堅調に推移。相変わらず人手不足の状況は続いている。特 に、若年層の就業不足が大きな課題である。(職別工事業)			
	運 輸 業	<u>م</u>	タクシー業界においては4月は新入社員や新組織の始まる時期でそれに伴う飲食などから需要が期待出来る月。それなりに需要等はあるが、JR宇都宮駅東口構内に関して言えばライトライン開業後、実車回数は $2\sim3$ 割滅、同様に売り上げも $2\sim3$ 割減の状態。同路線行き先を考えれば当然のことではあるが。話題になっているライドシェアについては地域外なので影響はないが、TAXI GOも数社取り入れ当組合としても一年半前頃から検討調整中である。支払方法については現金以外のカード決済、Suica、PayPay等の利用が目立つ。日単位でみれば5割に近いかと思われる。(一般乗用旅客自動車運送業)			

[※]情報連絡員の方より頂いたコメントの中から一部掲載しています。 集計結果の詳細は本会HP (http://www.tck.or.jp/) をご覧ください。

栃木県テント装飾工業組合

理事長 太田 浩彰さん

皆さんは「テント」と言われて何を思い浮かべますか? アウトドアで使うものや、学校の運動会やイベントで見かける仮設テントなどをイメージされるかもしれませんが、工場などで使う間仕切りや仮設倉庫、東京ドームをはじめとする巨大ドームの屋根に使われているのもテントです。さらに、近年多発する災害時においては、避難所でのプライバシー保護や瓦礫からの雨除けなど、様々な形で被災地に貢献しています。

今回は、県内テント業界全体の改善と発展を図る栃木県テント装飾工業組合の太田浩彰理事長にお話を伺いました。



インタビューの様子

初めに、組合の設立の経緯について教えてください。

昭和55年11月4日に組合の前身である「栃木県重布装飾工業組合」を56社で設立しました。すでに 昭和49年7月に「栃木県重布装飾協同組合」が県内事業者で設立され活動していましたが、昭和54年 9月に全国団体である「日本帆布製品工業組合連合会(現在の日本テントシート工業組合連合会)」 が法人化されたことを受けて、全国団体と歩調を合わせ、立場の弱い中小事業者への指導や教育を強 化し、事業者の団結を促す目的で、発展的に商工組合を設立しました。

テント業界について教えてください。

一口に「テント製造業者」と言っても、取り扱う製品は 非常に多岐にわたります。店舗の日除け、サーキットやテーマパークなどで使われるデザイン性の高いテントやオーニング、工場で使用する間仕切りやシートシャッター、荷捌き用テントまで、皆さんの日常生活の中で「こんなところにも」と思われるような場所にも私たちの製品が使われています。栃木県では、県内各地に工業地帯があることから工場の引き合いが強く、工業用テントの需要が大きいです。一方、都心部では店舗やイベントに使用するデザイン性の高いテントが求められる傾向にあり、その分野に特化



テント縫製の様子

した事業者が多く存在します。このように、地域の産業のあり方に大きく左右される業界であるため、 エリアごとに得意分野が大きく分かれているのが特徴です。

また、近年は「膜天井」と呼ばれるシート状の天井素材の普及も進んでいます。災害による天井の 崩落が相次いだことを受けて、軽く薄手で安全性の高い天井素材が注目されています。設置には高度 な専門技術が必要ですが、防災意識の高まりにより、今後伸びていく分野の一つではないかと考えて います。

最近、特に力を入れている取組について教えてください。

前述のとおり、当組合は日本テントシート工業組合連合会との繋がりが強く、従来より上部団体を 通じて様々な教育情報事業を行ってきました。しかし、経済情勢の変化により脱退・廃業する事業者 が増えており、組合の存在意義をもっとダイレクトに示す必要に迫られています。

全国各地のテント組合では、特に西日本を中心に豪雨災害の多発や南海トラフ地震に対する警戒を受けて、都道府県との間に災害時応援協定を締結する動きが活発化しています。災害時対応のノウハウを確立することは地域の強靭化だけでなく、行政に対する営業機会の獲得にもつながります。私ども栃木県テント装飾工業組合においても、地域の防災に資すること、組合の存在意義を高め、活動を活性化することを目的に、日本テントシート工業組合連合会及び中央会の支援を受けて勉強会を実施し、令和6年2月29日付で栃木県危機管理防災局との間に「災害時における物資の供給協力に関する協定」を締結いたしました。

今後の展望について教えてください。

協定締結準備中の令和6年1月1日に、石川県で能登半島 地震が発生しました。石川県テントシート工業組合は、既に 行政と災害時応援協定を結んでおり、さらに令和4年3月に は東海北陸ブロック内で災害時等対応連携協定を締結してい ました。

石川県テントシート工業組合理事長が、発災直後に県及び各市町村に「物資提供支援の用意があります」とFAXし、ブロック内組合及び全国団体と連携しながら迅速に災害対応を行いました。事前の備えが活きた好例と言えるでしょう。受け身の支援にならないことは重要です。たとえば、壊れた屋根や瓦礫にかぶせるブルーシートですが、一般的なビニールのシートは紫外線の影響ですぐにボロボロになってしまいます。近年はより耐久性の高い「ターポリン」という素材の



災害時応援協定

シートがありますが、コストの問題等によりあまり普及していません。状況を見定めて「こうした製品がありますよ」と知識のある業界側から積極的に提案していくことは、被災者と支援する組合企業 双方のメリットになります。

協定は締結するだけでは終わりではありません。物資を提供し、代金や経費が支払われるまでの間の運転資金を確保するため、地域の金融機関とも協力関係を築いていく必要があります。組合では現在商工組合中央金庫宇都宮支店と連絡を取り合い、緊急時の資金対応について今後協議予定です。今回の協定は理事長企業と全国団体が中心となって締結しましたが、他の組合員も参加し、より実効的な支援体制を整えるための取組みを進めていきます。

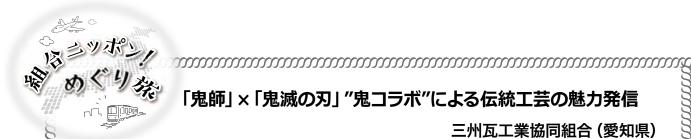
新型コロナウィルス感染症の影響でテント業界も大きな打撃を受けました。企業の減少から、従来はその地域で受注されていた仕事を他県のテント事業者に発注するケースも増えています。これまで専門化が進んでいたテント業界ですが、生き残りのためには今までの得意分野だけでなく、新たなニーズに積極的に応えていくことも求められます。災害は起こらないことが望ましいですが、事前準備や自分たちの地域は自分たちで守るという意識を持つことで新たなビジネスチャンスにつながると考えています。

最後に中央会に期待することを教えてください。

災害時応援協定締結に関しては、勉強会の開催や 栃木県・商工組合中央金庫宇都宮支店への取次など でお世話になりました。組合や事業者単独では行政 や金融機関へのつながりを作るのが難しいところも あるため、中央会に仲介をお願いできればと考えて います。

本日はありがとうございました。

代表者	太田 浩彰 (株式会社第一テント 代表取締役)		
設 立	昭和55年11月4日		
所在地	栃木県真岡市西沼858		
電 話	話 0285-82-2795		
組合員数	10人		



「鬼師」×「鬼滅の刃」"鬼コラボ"による伝統工芸の魅力発信

三州瓦工業協同組合(愛知県)

瓦業界は住宅需要の減少や阪神淡路大震災以降の瓦へのマイナスイメージに苦しむなか、瓦職人の不 足から技術の継承が途絶えてしまう恐れがある。

このような状況下において鬼瓦を製造している組合員が中心となり、メディアを通して「鬼瓦」や 「鬼師(鬼瓦を制作する職人)」をPRする方法を模索していた。

そこで、鬼瓦の生産地である愛知県高浜市が令和2年に市政50 年の節目を迎え、さらなる町おこしの一環として本コラボレーショ ンが実現した。(写真①)

主な取組み内容は、高浜市役所庁舎前に「オリジナル瓦モニュ メント」の設置や観光案内所等で「コラボ限定オリジナル瓦グッ ズ」を販売、組合員である「鬼師」の指導による瓦粘土の型押し 体験等のワークショップ等を実施した。(写真②)

本コラボレーションに関する商品の開発・販売や製作物の展示、 SNS等での情報発信は版権元やイベント会社の許可が必要であ り、製作物の作り直しなど時間を要することが多々あった。また、 本コラボレーションは想像をはるかに上回る反響があり、組合H Pによるオンラインショップにアクセスが集中し、一時はサーバ ーがダウンするなど運営上様々なトラブルに見舞われた。

コラボレーションの準備段階から、イベント会社と高浜市、当 組合での全体会議や打合せを随時実施するなど連携力を強固にす るとともに、コラボレーション期間中は組合HPに特設ページを 開設するなどネットワーク関連の強化にも努めた。

試行錯誤の結果、コラボレーション期間終了後には「鬼師にな りたい」「鬼瓦を飾りたい」等全国からの反響や問い合わせが寄 せられ、「鬼師」、「鬼瓦」の知名度向上につながった。また瓦業界 全体のイメージが向上し、組合員の事業への波及効果がみられた。

本コラボレーションは、愛知県高浜市の伝統産業である「鬼 瓦」の知名度を向上させ、地域の誇りや特産品としての価値がよ り一層高まる機会となった。今後も瓦の良さを伝える取組みを実 施し、瓦需要の増加や技術の継承に繋げていきたい。

住	所	愛知県高浜市青木町六丁目2番地13		
設	立	昭和22年3月	主な業種	窯業・土石品製造業
組合	員数	28人	出資金	3,560千円



写真①「鬼師」×「鬼滅の刃」コラボレーションポスタ



写真②「オリジナル瓦モニュメント」制作中の様子

(「令和5年度組合資料収集加工事業報告書」より転載)

員外理事の代表理事就任について



事業協同組合において、員外の理事が代表理事になれるか。理事長、専務理事が共に員外で ある場合はどうか。



員外理事は、組合事業に専念できる者を得るために設けられた制度であることから、代表理 事になることは差支えない。しかしながら組合は組合員のための組織であることを考慮すると 組合の長は組合員のうちから選任されることが好ましい。

また、理事長、専務理事が共に員外理事であることは一般的には避けるべきであるが、特別 の事情でそれが組合運営に却ってプラスとなるのであれば一概には排除すべきことではないと 考える。

(全国中小企業団体中央会「組合質疑応答集」より転載)

栃木県産業教育振興会からのお知らせ









栃木労働局からのお知らせ

令和6年度の労働保険年度更新期間は 6月3日(月)~7月10日(水) (電子申請・電子納付の手続きもできます)

労働保険(労災保険・雇用保険)年度更新の申告・納付は、栃木労働局労働保険徴収室、管轄の労働 基準監督署のほか、金融機関(銀行・郵便局等)の窓口でも扱っています。金融機関に申告書を提出す る場合は、申告書と納付書を切り離さずに、保険料を添えてご提出ください。

なお、口座振替をご利用の場合、保険料の充当・環付により納付額がない場合、また、申告書以外の 書類(環付請求書、一括有期事業総括表、一括有期事業報告書など)については、金融機関でのお取扱 いができませんので、栃木労働局または管轄の労働基準監督署へ持参または郵送によりご提出ください。 (労働保険の申告・納付等の事務を社会保険労務士や労働保険事務組合に委託することもできます。)

本年度の変更点

◇令和6年4月1日より、労災保険料率が一部改定されました。

令和5年度の確定保険料は確定前の保険料率で、令和6年度の概算保険料は新しい保険料率で、「保 険料算定基礎額(賃金総額)×保険料率 | により算出ください(雇用保険料率については、令和5年度 と同率です)。

◇令和6年4月1日より、建物の事業に係る労務費率が一部改定されました。

建設の事業において労災保険の賃金総額を正確に把握し得ない場合は、「請負金額×各事業(建設 工事等)の開始時点の労務費率×労災保険料率」により確定保険料を算出してください。

労働保険の手続きは、カンタン・便利な電子申請・電子納付で!!

★いつでもどこでも手続き可能!

★簡単・スピーディに申請!

索

★ムダな時間やコストも削減!

詳しくは 労働保険 電子申請 電子納付



電子申請



電子申請・ 口座振替 ΗP

問合せ先:栃木労働局労働保険徴収室(028-634-9113) または 管轄の労働基準監督署までお願いします。

中央会からのお知らせ

決算関係書類の提出をお忘れなく!

組合は毎事業年度、通常総会の終了の日から2週間以内に、決算関係書類を所管行政庁に提 出することが法令(中小企業等協同組合法 第105条の2)で義務付けられています。なお、3 年連続して提出を怠ると休眠組合とみなされ、解散整理の対象となりますので注意が必要です。

所管行政庁が栃木県の組合は、当中央会に提出をお願いいたします。

<提出書類>

○決算関係書類提出書

○事業報告書

○財産目録

○貸借対照表

○損益計算書 ○剰余金の処分又は損失の処理の方法を記載した書面

○前各号の書類を提出した通常総会の議事録

※それぞれの書類は、中小企業等協同組合法施行規則に基づき、具体的な作成基準(様式) が定められております。

第76回中小企業団体全国大会 福井大会のご案内

第76回中小企業団体全国大会が、福井県福井市において開催されます。 大会参加に合わせ、今年度も1泊2日のオリジナル合同参加ツアーを企画しております。 会員の皆様におかれましては、万障繰り合わせの上、多数のお申込みをお待ちしております。

【開催概要】

◆日 時 **令和6年10月24日(木)** 13:40~16:30

フェニックス・プラザ(福井県福井市田原1丁目13-6) ◆場が

◆主 催 全国中小企業団体中央会 福井県中小企業団体中央会

【合同参加ツアーについて】

◆日 程 **令和6年10月24日(木)~25日(金)** (1泊2日)

初日:大会参加等/翌日:福井県内の観光(恐竜博物館、永平寺 ほか) ◆内 容

93,000円 (大会参加費 6,600円含) ◆参加費

※詳細につきましては、近日中に正式案内にて別途ご案内させていただきます。

集 後 記

5月後半から、急に蒸し暑い日が続きましたね(汗) 穏やかな緑の季節をすっ飛ばし、いきなり初夏に突入し たような目まぐるしい気候変動で、私は急激な寒暖差に 体が追い付かず、くしゃみが止まらなくなってしまいま した。所構わずうるさくて、大変申し訳ありません。

さて、お陰様で本会も通常総会を終えまして、皆様の 団体でも6月から本格始動されるところが多いかと思い ます。私に関しては、仕事はもちろんのこと、プライベ ートの釣りもアクセル全開で淡水と海水を駆け回ってい きます!鬼怒川の鮎も解禁ですし、あるいはフグ釣りで 船に乗ろうかな?梅雨の合間を見計らって、なんとか行 けたらいいなと思います。(I.K)

組合の情報やPRチラシを、 「中央会 Monthly とちぎ」に同封しませんか?

商品やイベントの告知をしたい方、組合チラ シを幅広く配布したい方、ぜひ当会「チラシ同 封サービス」をご活用ください。発送コストの 削減や、効率的なPRが可能となります!詳細 はお電話にてお問合せください。

発刊元 栃木県中小企業団体中央会

栃木県宇都宮市中央 3-1-4 栃木県産業会館 3 階 TEL 028-635-2300 FAX 028-635-2302

栃木県中央会



♣ Facebook もやっています!